



水生昆虫の、オス、メスはどうやって見分けるの

前足で見分ける

水生昆虫には、アメンボ、ゲンゴロウ、ガムシ、タガメ、ミズカマキリ、コオイムシなどがいますが、オス、メスが見分けられるものは、少ないようです。

いちばん区別がつきやすいのは、体が大きいゲンゴロウのオス、メスでしょう。ゲンゴロウのオスは、交尾（オスの体質や性格などを伝える遺伝子をメスにわたす）するとき、メスの背中にだきつくために、前足に吸ばんがあります。メスの前足には何もついていないため、前足を調べれば、オス、メスがわかります。

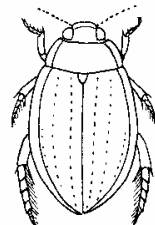
水草などをえさにしているガムシのオスも、交尾のときメスにだきつくためか、前足の先部分に、ふくらみがあります。メスには、このふくらみがありません。

呼吸管の長さや、習性で見分ける

長い呼吸管を水面につき出して呼吸しているミズカマキリのオスは、頭からしっぽまでの体長より呼吸管のほうが長いです。でも、メスは、体長とほぼ同じくらいの長さです。

5～6月ごろの産卵期なら、コオイムシのオスは、背中に卵を背負っているからわかりやすいですね。

水面からつき出たくいなどに産卵するタガメは、オスが卵の上におおいかぶさって、卵を守っています。（監修・中山 周平）



ゲンゴロウ



オスの前足



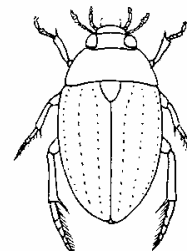
メスの前足



オスの前足



メスの前足



ガムシ

